

ささやまの森公園だより



春のささやまの森公園

学びの原点 「森が学校」

ささやまの森公園では、小学校3年生から6年生の子どもたちが対象の、1年間を通してさまざまな体験プログラムが受けられる「森の学校」を絶賛開催しています。子どもたちがたくましく生きる力を身につけ、自然に親しむ心を養うことを目的として、2008年から始まり、今年度で17期生となる17人がこの3月に修了します。木登りや溪流沢登り、草木染め、深山登山、木工クラフト、こんにやく作り、クリスマスリース作り等々。ささやまの森公園での四季折々の体験ができるプログラム内容で実施しています。

ある参加した児童の感想です。「今までできなかったことを体験しました。そして今まで知らなかったことをたくさん発見できてとてもうれしかったです。」定員の15名の子どもたちは、遠くは大阪府下からも参加してくれており、県立ささやまの森公園を舞台とした里山体験活動を満喫してくれています。

昨年、一人の青年が公園を訪ねてくれました。声をかけてみると「公園の様子が変わってなくてとても懐かしいです。実は、僕、森の学校でお世話になりました」とのこと。聞いてみると、森の学校第2期生で現在25歳になっている修了生でした。「この公園で体験したこと忘れていません。あれから森が好きで、休日には自然に触れ合える公園に足を運んでいます」とのこと。そして、公園のプログラム運営や保全活動をサポートいただく活動スタッフの話の振ると快く登録してくれることになりました。

もう一つ、県立篠山東雲高校の学校設定科目である「里山文化」の授業のお手伝いを当公園はさせていただいています。農業高校である同校で、里山保全に向けた学びを進め、里山でわれわれが恩恵を受けてきた文化を学ぶ講座として、当公園をフィールドに学びを修めてくれています。その「里山文化」を受講した現在20歳の卒業生の一人が、公園の活動スタッフとして、前記の「森の学校」の運営に関わってくれています。森で学び、森で体験した記憶は、彼らのその後の人生において豊かに息づいているようです。彼らは、自分も体験したことを次世代の子どもたちに伝えるお手伝いをさせてもらえたらと考えてくれています。

自然一杯のささやまの森公園。ここには森の中であるからこそ学べ、森があるからこそ体験できる学びがあります。河合雅雄先生がささやまの森公園のキャッチフレーズとして推奨された『森が学校』を、里山を舞台とした人のつながりでも万世不易として繋いでいきたいものです。

今年も、ささやまの森公園事務所裏の山裾から、四季折々の野鳥のさえずりが聞こえました。彼らのさえずりは、まさしくささやまの森公園の自然の豊かさを象徴するものです。

この豊かな自然をしっかりと守り伝えなければならないことを肝に銘じつつ、この公園で過ごす時間をありがたいと実感しています。

兵庫県立ささやまの森公園長

奥田 格

丹波2050地域ビジョン「たんばユース躍動プロジェクト」 ささやまの森公園の保全再生プロジェクト

ささやまの森公園では、これまでから珍しい野鳥が飛来し41種もの多くの鳥が観察されています。このプロジェクトで、鳥類の基礎的な生息環境を学習し、その後、ささやまの森公園をフィールドとした、鳥類の生息を支える森の仕組みなどについて学びました。フィールド調査の発表会では、各調査グループからの報告と意見交換があり、今後につながる取組となりました。



森の学校に第17期生を迎えて

豊かな自然の中でさまざまな体験活動を通して、たくましく生きる力を育むことを目的に、小学3年生～6年生の17人が1年間、普段の生活とは違う里山での自然体験活動を経験しました。

ボランティアスタッフの指導のもと、体験学習を通してたくましさを育みました。



新たなプログラムを展開

新たな体験プログラムの取組として、アウトドアに役立つロープワーク、特別企画「親子で朗読会」(協力: ささやま図書館友の会)、そば粉料理を作ろう、大根のビール漬けを作ろうなどを展開し好評を得ました。



トライやる・ウィークの受け入れ

ささやまの森公園では、「職場体験を通して地域について学び、生きる力を育む」ことを目的に丹波篠山地域の中学2年生による「トライやる・ウィーク」を受け入れています。

今年度は6月4日から8日の5日間、篠山東中学校から2年生1名が来園し、プログラムの準備、同好会活動の体験、散策路の整備、案内看板の補修などの体験をしました。



兵庫県立篠山東雲高校の授業「里山文化」

「里山と人々の生活から生まれた多くの文化を学び、自然や資源、生きていく環境、農業との関りについて考える」篠山東雲高校設定科目の「里山文化」において、連携協力ができました。



水源の森たんばささやま

兵庫県、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、兵庫丹波の森協会の三者で結ばれた森林管理協定に基づき、本公園の森林を「水源の森たんばささやま」として、整備計画に基づいた人工林の間伐などが行われています。

今年度も、コカ・コーラボトラーズジャパン明石工場の従業員ボランティアやその家族がエリア内の間伐体験を行いました。

午後は活動スタッフの指導でウッドクラフトに挑戦しました。



4月14日(日)

春の里山まつり

5年ぶりの春の里山まつりとなりました。
天候にも恵まれ、たくさんの方に来園いただきました。



5月11日(土)

「里山の目」特別企画 春の深山登山

絶好の登山日和で新緑の山々を楽しみました。



6月22日(土)

森にすむカエルを 見つけよう

モリアオガエルの産卵やタゴガエル・トノサマガエルが見られました。



7月27日(土)

ささやまの森探検隊

～知られざる秘境地帯をゆく～

公園内を流れる沢の中を上流部目指して歩きました。



8月23日(金)

草木で染めよう

～藍の生葉～

藍の生葉でシルクストールを染めました。



9月22日(日)

そば粉料理を作ろう

昨年のそば道場プログラムで収穫したそば粉を使って、ガレット、そばまんじゅう、そば白玉ぜんざいを作りました。ガレットが好評でした。



10月27日(日)

特別企画 親子で朗読会

河合雅雄先生が愛した宮沢賢治の「どんぐりと山猫」の朗読会をささやま図書館友の会や音楽グループ「オトトテ」のご協力で開催しました。朗読劇のあと、どんぐりアートも楽しみました。



11月10日(日)

秋の里山まつり

「黄葉の里山にどっぷり、ゆったり！」をテーマに開催しました。各種団体の皆様にご協力をいただきました。



12月8日(日)

丸太から椅子を 作りましょう

丸太を使って椅子を作りました。



1月18日(土)

こんにゃくを作ろう

こんにゃく芋を使って手作りこんにゃくを作りました。



2月15日(土)

大根のビール漬けを 作ろう

大根とビールを使って美味しい漬物を作りました。2週間後が楽しみです。



3月2日(日)

シイタケ作り 第2回植菌

前回伐採し玉切りにしたコナラの原木にシイタケの菌を植え付けました。



団体プログラムの展開

幼稚園から大学までの学校組織や団体の活動の場として公園を提供しています。自然観察や各行事の趣旨を生かしたプログラムを支援することで、里山のすばらしさ大切さを広めました。

30団体 781名 (1月末日現在)

※森の学校、里山文化授業、トライやる・ウィークの受け入れを除く



丹波篠山市立城北畑小学校 (出前ワークショップ) 松ぼっくりのツリー作り



藍染め体験



コカ・コーラ明石工場 ワークショップ

園外活動等への参加

活動スタッフさんの協力により外部のイベントに参加しています。ささやまの森公園の活動をPRすることができました。

ポスターセッション

- 開催日 9月8日(日)
- 場 所 丹波市薬草薬樹公園
- 内 容 丹波地域環境パートナーシップ会議に於けるポスターセッション(パネル展示等)で参加



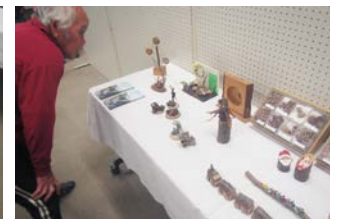
2024 丹波の森フェスティバル

- 開催日 10月27日(日)
- 場 所 丹波の森公園
- 内 容 活動スタッフ4名が「草木染め体験」で参加
当公園職員によるチェーンソーアートの実演



多紀文化祭

- 開催日 11月2日(土)
- 場 所 ハートピアセンター
- 内 容 ウッドクラフト作品を展示



ひょうご里山フェスティバル 2024

- 開催日 11月3日(日・祝)
- 場 所 宝塚西谷の森公園
- 内 容 「シカの角でアクセサリー作り」で参加



福住祭

- 開催日 11月17日(日)
- 場 所 兵庫県立篠山東雲高校
- 内 容 活動スタッフ3名が「バルーンアート」で参加



スタッフ活動に参加して

私はレクリエーション班として活動しています。里山まつりをはじめ、森の学校に参加しました。里山まつりは、参加者も多く、登録されている多くのボランティアスタッフが集まるなど、みんなと交流しながら楽しく活動することができました。私は、CAFEの火起こしを一日中していました。ここでは、薪がたくさんあり、気兼ねなくいくらでも燃やすことのできるため、炎を見ると全く飽きません。たき火の周りにも参加者が多く集まってきて、たき火で沸かしたCAFEは格別に美味しいと好評でした。また、森の学校では子供達と深山登山に参加しました。自然の中では、子供達は五感を通じて、森の中で感じたこと、気をつける場所など、みんなで声を発しながら、友達に声をかけながら登山をしていました。

私も五感を通じてこのささやまの森から、普段の仕事や生活とは別の体験が得られことに魅力を感じながら活動をしています。

活動スタッフ 小松 正之

令和6年度の夏から、スタッフとして活動に参加させていただいています。

私は特に、色々な生き物の観察をする班に入っています。例えば、モリアオガエルの観察、ヒメボタルの観察などがあり、参加させていただきました。モリアオガエルの観察では、ささやまの森公園の敷地内にある池で、近くの木にとまっているカエルを探したりしました。ヒメボタルの観察の時は、普段、川などで見るホタルとは違い、山の中で生息しているホタルで、光り方が違うと学びました。

私は、丹波篠山市で育ち、自然に触れて育ってきたと思っていましたが、スタッフとして活動していく中で、今まで見たことのない生物などを見ることが出来たり、知らなかったことを知ることが出来ました。

他にも、それぞれの季節に合わせたイベントなど、色々なジャンルのイベントがあります。私もスタッフとして、色々なイベントに参加出来たらと思っています。

また、色々な方に参加していただき、伝統文化や、篠山の自然を広く知っていただければと思います。

活動スタッフ 長澤 颯希

ささやまの森公園では、野鳥観察を目的とした方が多く来られます。たくさんのお木々、静謐な空気、観察するのにぴったりの環境です。こちらの公園に来る前は鳥が鳴いていても、ただ『鳥の鳴き声』としか認識しておりませんでした。森から聞こえる鳴き声を聞き分ける事は難しく、名前と結びつかないので、野鳥観察者の方々がすぐに特定されるのを凄いなあと感じています。

この冬に家の近所でよく囀っている鳥の名前がふと気になり、ネットで調べてみました。姿形、季節や場所、鳴き声など様々な特徴で検索できるサイトがあり、『ジョウビタキ』と分かりました。数多く存在する野鳥の中の一匹を知っただけですが、少しずつ興味を持ち、見聞を広げたいです。

(K)

森のちややき

ささやまの森公園は、開園から23年になります。この間、活動スタッフの方の企画運営により多くのプログラムが展開されています。私もプログラムに参加し、いろいろ体験をさせていただきました。味噌作り、そば打ち、しめ縄作り、黒豆栽培等々、今では生活の楽しみになっています。家族から『美味しい』『すごい』と言われるのが嬉しくて作っています。テレビ『人生の楽園』を観ては、私に何が出来るかな・・・椅子に座っているようではダメだと思ってしまう。プログラムを教えることも出来ることも、それを教えることは難しいと感じています。活動スタッフの方々のエネルギーに感謝しています。

(F)



里山クイズ

4月下旬、公園入口左側の木にピンク色の花が咲きます。さて、何の花でしょうか。

- ① 梅の花 ② カリンの花 ③ 梨の花

ヒント

秋には握りこぶし大の香しい黄色い実を付けます。実は咳止めに効果が有ると言われています。



クイズの答えと住所・氏名・感想（誌面又は公園に関する）を書いてハガキ・FAX・メールで「ささやまの森公園」まで送ってください。正解された方には、抽選の上記念品をプレゼントします。（メ切：令和7年4月30日）
当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

ささやまの森公園

春の里山まつり

令和7年 4月13日(日) 10:00~15:00

無料体験（風船アートあそび、丸太切り、顕微鏡観察など）・食べ物販売（パンなど）・篠山東雲高校生による食品販売 など。

お楽しみに！

森の学校 第18期生 募集！

開催期間 令和7年 5月10日(土)～令和8年 3月7日(土)

年度を通じ10回の自然体験活動を行います。

活動場所 兵庫県立 ささやまの森公園 (お子様の送迎は保護者の方にてお願いします。)

対象年齢 小学3年生～6年生
(山登りなど自力で自然体験活動ができる体力が必要です。)

募集人数 15名(応募多数の場合は抽選)

参加費 年間 10,000円(傷害保険料を含む。プログラム内容に応じた金額の変更をさせていただきます。)

申込期間 令和7年3月18日(火)～4月12日(土)必着

◆参加お申し込み・お問い合わせは公園事務室までお願いします。

豊かな自然の中で、さまざまな体験活動を通して、たくましく生きる力を育てる。

活動スタッフさんを募集しています

週末や祝日に行われるプログラムの企画運営をお願いしています。5班(里山復元・里山伝承・里山体験・自然学習・レクリエーション)のいずれかに所属し活動していただきます。随時お申し込みが可能です。ご興味ございましたら事務室にお電話ください。



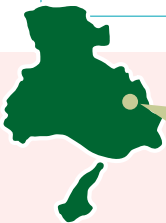
ファン倶楽部員募集

公園の運営をご支援いただける個人・団体のファン倶楽部員(会員制)を募集しています。

[一般会員] (個人) ●年会費 1,000円 ●特典 情報提供、特別行事参加

[ふるさと会員] (個人) ●年会費 10,000円 ●特典 情報提供、特別行事参加、特産物(栗、枝豆、黒豆、山の芋)送付

※詳しくは事務室にお尋ねください。



第28号 ささやまの森公園だより(年1回発行)

◇発行日/令和7年(2025年)3月21日

◇発行/(公財)兵庫丹波の森協会
兵庫県立ささやまの森公園

〒669-2512

兵庫県丹波篠山市川原511-1

TEL(079)557-0045/FAX(079)557-0201

Eメール: csr@sasayamanomori.jp

ホームページ: <https://www.sasayamanomori.jp/>

